

魅力ある高校生にインタビュー

明日へ ジャンプ。



No.186

日々の練習を惜しまず 目指すはJOC大会2連覇

伊勢崎商業高等学校 2年 ^{すだ ふみね} 須田 風海音 さん



「ボウリングの魅力は何といっても音です。きれいにストライクを取れた時だけに鳴る、ピンを弾いた音は爽快感があり、気持ちがいいです」とボウリングの魅力を話す須田さんにボウリングを始めたきっかけを聞きました。

「小学5年生の時に家族と地区のボウリング大会に参加しました。思っていたよりも点数が伸びず、悔しい思いをしたため、次こそは良い点数が取りたいと思い、本格的にボウリングに打ち込むようになりました」

大会で良い点数が取れなかった悔しさから本格的にボウリングに取り組むようになった須田さんですが、上達するまでに時間がかかったと言います。

「最初はボールを曲げることやピンの良いところにボールを当てるのが難しく苦戦しました。ですが、普段から基礎練習を欠かさずに行うことで、だんだんとボールをコントロールできるようになり、ストライクを出せる回数が増えていきました」

日々の練習で手を抜かず、苦手な技などにも向き合い常

に努力を重ねた結果は大会の成績にも表れます。昨年8月に行われたJOCジュニアオリンピックカップ全日本高校ボウリング選手権大会では、見事、男子個人優勝を果たしました。

「過去の大会ではプレッシャーに負け大事な場面でストライクを出せず、悔しい思いをしたので、今大会では大事な場面で連続してストライクを出すことができ、悔いの残らない試合ができました。正直、結果には驚きましたが、優勝することができてうれしかったです。今大会と同じ大会がことしも開催されるので、もう一度優勝し、2連覇したいです」

プロフィール

すだ・ふみね

中学時代には全日本中学ボウリング大会で準優勝を果たすなど、多くの大会で成績を残している。高校卒業後も競技を続け、将来はプロになりたいと話す。趣味はサッカー観戦で、テレビで試合を見ることが最近の楽しみ。

